

# コミュニケーションラボ・システム

## マスター制御ユニット WE-CL210

### ■概要

- コミュニケーションラボシステムは、CAI授業をすすめるときに先生と生徒が映像や音声のコミュニケーションを行うシステムです。
- コミュニケーションラボシステムは、
  - ① 音声コミュニケーション機能を持たない「システム1」と
  - ② 音声コミュニケーション機能を持った「システム2」があります。
- 「システム1」「システム2」とも、マスター側は同じです。「システム1」ではブースボックス、生徒用ヘッドセットは使いません。
- 「システム2」はブースボックスを使い、1台の生徒用コンピュータにヘッドセットを2台接続し、2人で使うことができます。
- 操作用コンピュータではシステムソフト、マスター操作ソフトが動作し、システムの制御管理を行います。
- マスター制御ユニット WE-CL210はシステムを中心ユニットです。コンピュータやAV機器の信号をブースと双方向の伝送を行います。

### ■システム構成機器 (別売品)

品名	品番	用途
マスター制御ユニット	WE-CL210	システムを中心機器
増設ボード	WE-ZC051	ブース数25以上のとき、マスター制御ユニットに組み込む
ヘッドセットボックス	WE-CL20A	マスターヘッドセット、マイクを接続する
ブースボード	WE-ZC041	ブースコンピュータに組み込む
ブースボックス	WE-CL230	音声コミュニケーション機能用、ブースヘッドセットやキーボードを接続する
映像提示用コンピュータ*1 操作用コンピュータ*1 ブースコンピュータ*1	CF-V31DS3/DD5 (キーボード、マウス、 CRTディスプレイ付)	} マスター側 (先生用) コンピュータ ブース側 (生徒用) コンピュータ
CRTディスプレイ*1	CV-VDC752	モニター用
オーバーレイカード*2 RS-232Cカード*3		マスター制御ユニット3台接続時のみ } コンピュータ に組み込む
マスター操作ソフト ETマスター ET基本エディタ ETユーティリティ	WE-AS510 WE-AS400V WE-AS401V WE-AS402V	} システムソフト } 操作用コンピュータを 動作させる
ヘッドセット マイクロホン オーバーヘッドカメラ ビデオプロジェクタ ルームスピーカ アンプ VTR	WE-5940	音声コミュニケーション用 ルーム拡声用 教材提示用 教材提示用 ルーム拡声用 ルーム拡声用 映像提示用 } オプション (付加機能) です

\*1) 情報機器 (事) 扱い

\*2) ビデオクリッパー (丸紅エレクトロニクス扱い) をご使用ください。

\*3) シリアルポートCOM3を設定できるRS-232Cカードをご使用ください。

## ■機能の説明

### (1)システム1、システム2 共通の機能

- 教材提示（全員／グループ／個別）  
マスター側の映像および音声をブースに送り出します。
- ブースモニター（自動／手動／グループ自動）
  - ・ブースの画面および音声をモニターします。
  - ・自動————→設定した時間間隔で順番にモニターします。時間間隔は1秒から10秒までを1秒間隔で設定可能です。
  - ・手動————→指定したブースをモニターします。
  - ・グループ自動————→指定したグループ内をモニターします。時間間隔は1秒から10秒までを1秒間隔で設定可能です。
  - ・映像のみ、音声のみ、映像+音声のいずれをモニターするかを指定可能です。
  - ・モニターの順番を設定可能です。
- モデル学習（全員／グループ）
  - ・指定したブース（モデルブース）の映像を、残りの指定ブースおよびマスターに送り出します。
  - ・モデルブースをモニターするブースは、全員もしくはグループを指定することができます。
- マスター映像入力切り換え  
2入力ある映像、音声入力（VTRやオーバーヘッドカメラ）を切り換えて教材ソースとします。
- プロジェクタ出力切り換え  
教師用コンピュータあるいは生徒用モニターの映像をプロジェクタに出力します。
- オールコール
  - ・ブースのヘッドセット（システム1ではブースのコンピュータのスピーカ）およびルームスピーカを通じて、全ブースへ一斉呼びかけを行います。

### (2)システム2のみの機能

- ブースコール／応答
  - ・ブースボックスのコールボタンを押しマスター側に呼びかけを行います。
  - ・複数ブースからのコール状態は保存され、マスター側の操作により先着順に通話応答できます。
  - ・ブース側でコールを取り消した場合、マスター側でのそのブースのコール状態は解除されます。
  - ・受け付けたコール状態を一斉に解除することができます。
- 単独音声モニター（自動／手動／グループ自動）
  - ・ブースの音声を片側ずつ（AまたはB）順番にモニターします。
  - ・自動あるいはグループ自動の場合は、設定した時間間隔でブースの音声を片側ずつ（AまたはB）順番にモニターします。時間間隔は1秒から10秒までを1秒間隔で設定します。
  - ・自動の場合、モニターの順番を設定することができます。
- 単独通話（会議／グループ／個別）
  - ・会議通話————→グループ内のすべてのブースと双方向の音声通話を行います。
  - ・グループ通話————→グループ内の指定ブースの指定した側（AまたはB）と双方向の音声通話を行います。このときグループ内の他のブースおよび指定ブースの反対側の生徒は通話内容を聞くことができます。
  - ・個別————→指定したブースの指定した側（AまたはB）の生徒との通話を行います。
- 双方向通話（会議／グループ／個別）
  - ・会議————→グループ内の全ブースと双方向の音声通話を行います。
  - ・グループ通話————→グループ内で指定したブースと双方向の音声通話を行います。このときグループ内の他のブースは通話内容を聞くことができます。
  - ・個別通話————→指定したブースと双方向の音声通話を行います。  
教材提示時の双方向通話では先生の声と教材音声がミキシングされます。（教材音声のレベルは下がりにません）
- 音声出力制御 — ライン出力のON/OFF  
マスター制御ユニットのライン出力のON/OFFを行います。

●キーボードロック（全員／グループ）

指定したブースのキーボードおよびマウス入力を禁止します。

●キーボード切換（全員／グループ／個別）

- ・ブースのキーボードおよびマウスの入力をマスター側キーボードおよびマウスの入力に切り換えます。
- ・指定ブースとマスターで双方向通話ができます。
- ・全員またはグループの場合は、指定した（またはもっとも若いアドレスの）ブースの画面モニターをします。また、残りのブースは通話内容を聞くことができます。

(3)学習実行時以外の機能

●カスタマイズ機能

動作時の細かい機能の選択をすることができます。選択できる項目を以下に示します。

システムメッセージ	表示する、	表示しない
* コールブザー	鳴らす、	鳴らさない
オールコールブザー	鳴らす、	鳴らさない
* 通話ブザー	鳴らす、	鳴らさない
オールコール時のコール要求クリア	クリアする、	クリアしない
未使用時のモニター用CRT	何も出さない、	先生画面を出す
モニター順序	座席番号順、	事前指定

（\*印はシステム2のみの機能）

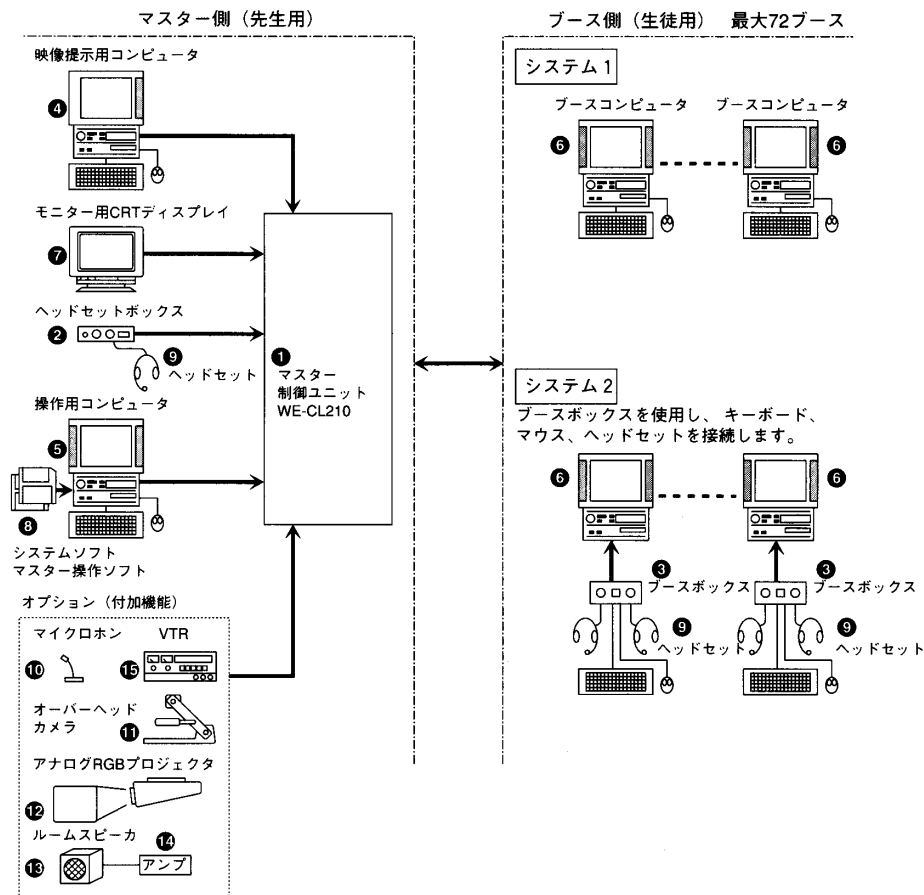
●生徒座席レイアウト

導入したシステムの実際の座席配置に合わせた座席画面を作成することができます。

●システム自己診断

マスター操作用コンピュータの指示により、システムのチェックが行われ、マスター操作用コンピュータのCRTに診断結果が表示されます。

# ■システム構成例



システム構成機器

	品名	品番	用途
①	マスター制御ユニット	WE-CL210	システムの中心機器
	増設ボード	WE-ZC051	ブース数25以上のとき、マスター制御ユニットに組み込む
②	ヘッドセットボックス	WE-CL20A	マスターヘッドセット、マイクを接続する
	ブースカード	WE-ZC041	ブースコンピュータに組み込む
③	ブースボックス	WE-CL230	音声コミュニケーション機能用、ブースヘッドセットやマウスを接続する
④ ⑤ ⑥	映像提示用コンピュータ*1 操作用コンピュータ*1 ブースコンピュータ*1	CF-V31DS3/DD5 (キーボード、マウス、CRTディスプレイ付)	マスター側 (先生用) コンピュータ ブース側 (生徒用) コンピュータ
⑦	CRTディスプレイ*1	CV-VDC752	モニター用
	オーバーレイカード*2 RS-232Cカード*3		マスター制御ユニット3台接続時のみ } コンピュータに組み込む
⑧	マスター操作ソフト ETマスター ET基本エディタ ETユーティリティ	WE-AS510 WE-AS400V WE-AS401V WE-AS402V	システムソフト } 操作用コンピュータを動作させる
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	ヘッドセット マイクロホン オーバーヘッドカメラ ビデオプロジェクタ ルームスピーカ アンプ VTR	WE-5940	音声コミュニケーション用 ルーム拡声用 教材提示用 教材提示用 ルーム拡声用 ルーム拡声用 映像提示用 } オプション (付加機能) です

\*1) 情報機器 (事) 扱い

\*2) ビデオクリッパー (丸紅エレクトロニクス扱い) をご使用ください。

\*3) シリアルポートCOM3を設定できるRS-232Cカードをご使用ください。

## ■定 格

電 源 : AC 100 V 50/60 Hz

消 費 電 力 : 約63 W

### <AVボード部>

映 像 入 力 1 : NTSCコンポジット1 V [p-p]/75 Ω  
BNCコネクタ

映 像 入 力 2 : NTSCコンポジット1 V [p-p]/75 Ω  
BNCコネクタ

オ ー バ ー レ イ : NTSCコンポジット1 V [p-p]/75 Ω  
カ ー ド 映 像 出 力 BNCコネクタ

音 声 入 力 1 : -15 dB入力インピーダンス10 kΩ  
ピンジャック (ステレオ)

音 声 入 力 2 : -15 dB入力インピーダンス10 kΩ  
ピンジャック (ステレオ)

オ ー バ ー レ イ : -15 dB入力インピーダンス10 kΩ  
カ ー ド 音 声 入 力 ピンジャック

オ ー バ ー レ イ : -15 dB入力インピーダンス10 kΩ  
カ ー ド 音 声 出 力 ピンジャック

### <モニターボード部>

教室モニター

映 像 出 力 : ビデオ信号0~0.7 V [p-p]/75 Ω  
同期信号TTLレベル/75 Ω  
(正または負極性)  
15P D-SUBコネクタ

先生モニター

映 像 出 力 : ビデオ信号0~0.7 V [p-p]/75 Ω  
同期信号TTLレベル/75 Ω  
(正または負極性)  
VGAコネクタ

教室スピーカ

音 声 出 力 : -15 dB負荷インピーダンス10 kΩ  
(アンプ無し) 以上  
ピンジャック

ヘッドセット : 専用インターフェース

ボックスイン 9P D-SUBコネクタ

ターフェース

### <PCボード部>

教師用コンピュ : ビデオ信号0~0.7 V [p-p]/75 Ω  
ー タ 映 像 入 力 同期信号TTLレベル/75 Ω

(正または負極性) VGAコネクタ

教師用ディスプ : ビデオ信号0~0.7 V [p-p]/75 Ω  
レイ 映 像 出 力 同期信号TTLレベル/75 Ω

(正または負極性) VGAコネクタ

教師用キーボー : OADG仕様106キーボード対応  
ド 入 力 6PミニDINコネクタ

教師用コンピュ : OADG仕様106キーボード対応  
ー タ キ ー ー ボ ー ド 出 力 6PミニDINコネクタ

教師用マウス : PS/2マウス対応  
入 力 6PミニDINコネクタ

教師用パソコ : PS/2マウス対応  
ンマウス入力 6PミニDINコネクタ

マスター操作用 : 専用インターフェース (RS-232C準  
コンピュ ー タ 拠)

インターフェ : 9P D-SUBコネクタ  
ー ス

### <ブースコネクションボード部>

ブースカードイ : 専用インターフェース

ンターフェース (各ボード3系統、合計24系統)  
50Pハーフピッチコネクタ

寸 法 : 420 (幅) × 221 (高さ) × 350  
(奥行) mm (突起部含まず)

質 量 ( 重 量 ) : 約12 kg

仕 上 げ : OAアイボリー塗装  
(前面パネルのみ)  
(マンセル6.5Y7.8/0.9近似色)  
その他ユニクロメッキ

## ■付属品

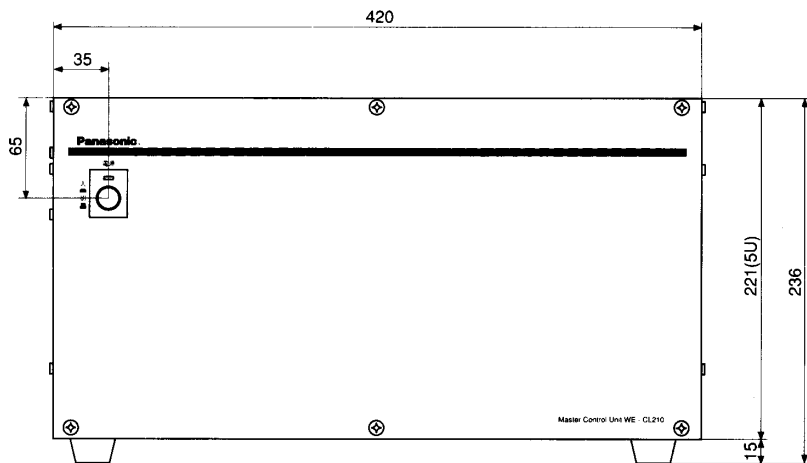
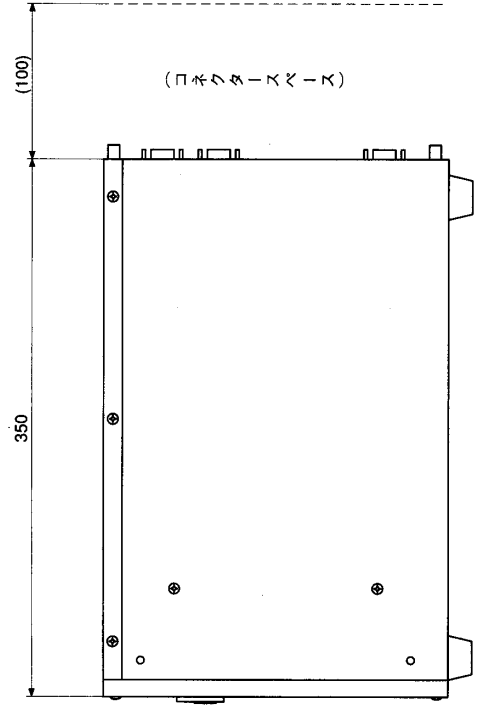
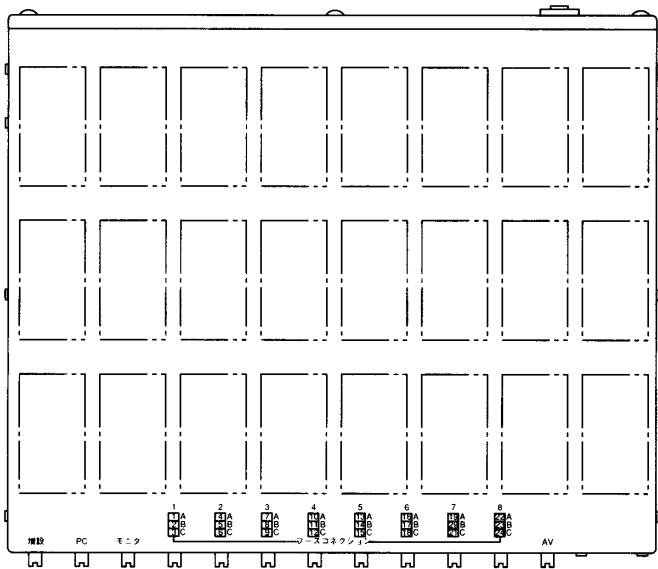
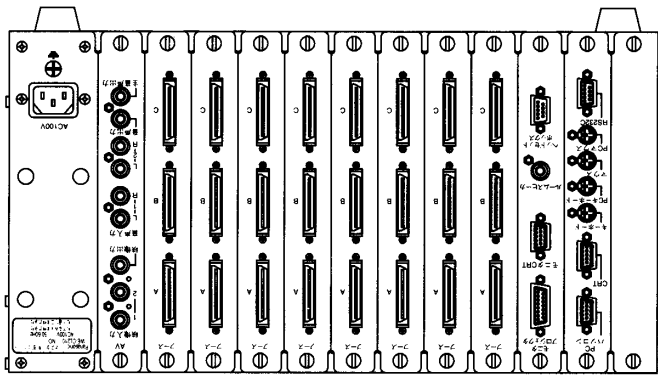
電源ケーブル..... 1

取扱説明書..... 1

工事説明書..... 1

保証書..... 1

# ■外観寸法図



単位	mm
縮尺	1/5